

開会の挨拶 (第57回東北学院大学経営研究所研究会)

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: ja 出版者: 公開日: 2024-07-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小池, 和彰 メールアドレス: 所属: |
| URL | https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/2000304 |

開会の挨拶

小池 和彰

東北学院大学経営研究所副所長

東北学院大学経営学部教授

今日はインボイス制度と、電子帳簿保存法ということで、インボイス制度、もう始まっています。なかなか大変らしいです、今。インボイスがないと、免税業者ということになってくると、インボイスが発行できないので、そういう免税業者は淘汰されるんじゃないかと言われています。しばらくは緩和措置みたいなものがあるようですが、そのうちにはなくなると思うんです。

電子帳簿の保存法っていうのは、私まだ全然ついていってないんです。最近お客さんの伝票とかをITか何かで処理して、勝手にやってくれるみたいな時代らしいんで。ただルールがあって、そのルールに従わないとまずいということらしいです、そのお話から入ってくるかと思います。

実は、アメリカなんかでは消費税ってないんです。付加価値税ってないんです。アメリカは基本的に保守が強い。だから私、日本ではトランプ大統領なんて異端児みたいに思われてるけど、どっちかっていうとアメリカはトランプ大統領なんです。だから、例えば社会保険の充実とか考えてないです。保険なんか自分で賄えみたいな。貧富の差はいいじゃないですか、アメリカンドリームがあるんですから、頑張ればみんなザッカーバーグみたいになるんだっていう社会なんです。

大きな政府っていうの嫌うんです。だから、政府がどんどん財政が膨張して行って、そうやって社会保障の充実だとか、男女差別撤廃だとか、そういうのにお金を使わないということなんです。ですから、消費税を導入すると、付加価値税を導入すると政府が大きくなる、肥大化する。それを恐れていて、アメリカでは付加価値税は導入していないということなんです。

北欧諸国なんかでは、税金、付加価値税も高いと。ヨーロッパなんかは基本的に20パーセント程度なんです。日本よりずっと高い。日本も2024、2025年に増税しようっていう話がまだあるようで。でも、それは多少は分かるんです、コロナで大変だったりとか、まだ東日本大震災の復興税って、所得税の場合、継続してますので、財政難だと思います。

だから、中には山本太郎みたいに、消費税減税しろとか、やめちゃおうみたいな、景気良くなるんだとかって言うてる人もいるけど、将来は誰にも分かりません。将来は誰にも見通せないんですけれども、それはちょっと難しいんじゃないですかね。やっぱり増税せざるを得ない。ただ、2024年、2025年に増税されるかっていうと分かりませんが、世の中の動きっていうのは非常に遅いです、特に日本は。

この前、学生さんが調べてきて、男女間の差っていうか、どの国が劣ってるとかそういうの出したんですけども、日本は男女間の差ってまだまだ強いんです。閣僚だって、女性、増やそうっていったって、今2名ぐらいしかいないじゃないですか。なかなか時代は変わらない。税制も、

毎年変わることは事実だけれども、少しずつしか変わらないんです。そんなに大きく変わらないというのが現実かと思います。でも、今回はインボイスが入ったということは非常に大きな改正だと思います。では、工藤先生、よろしく願いいたします。